

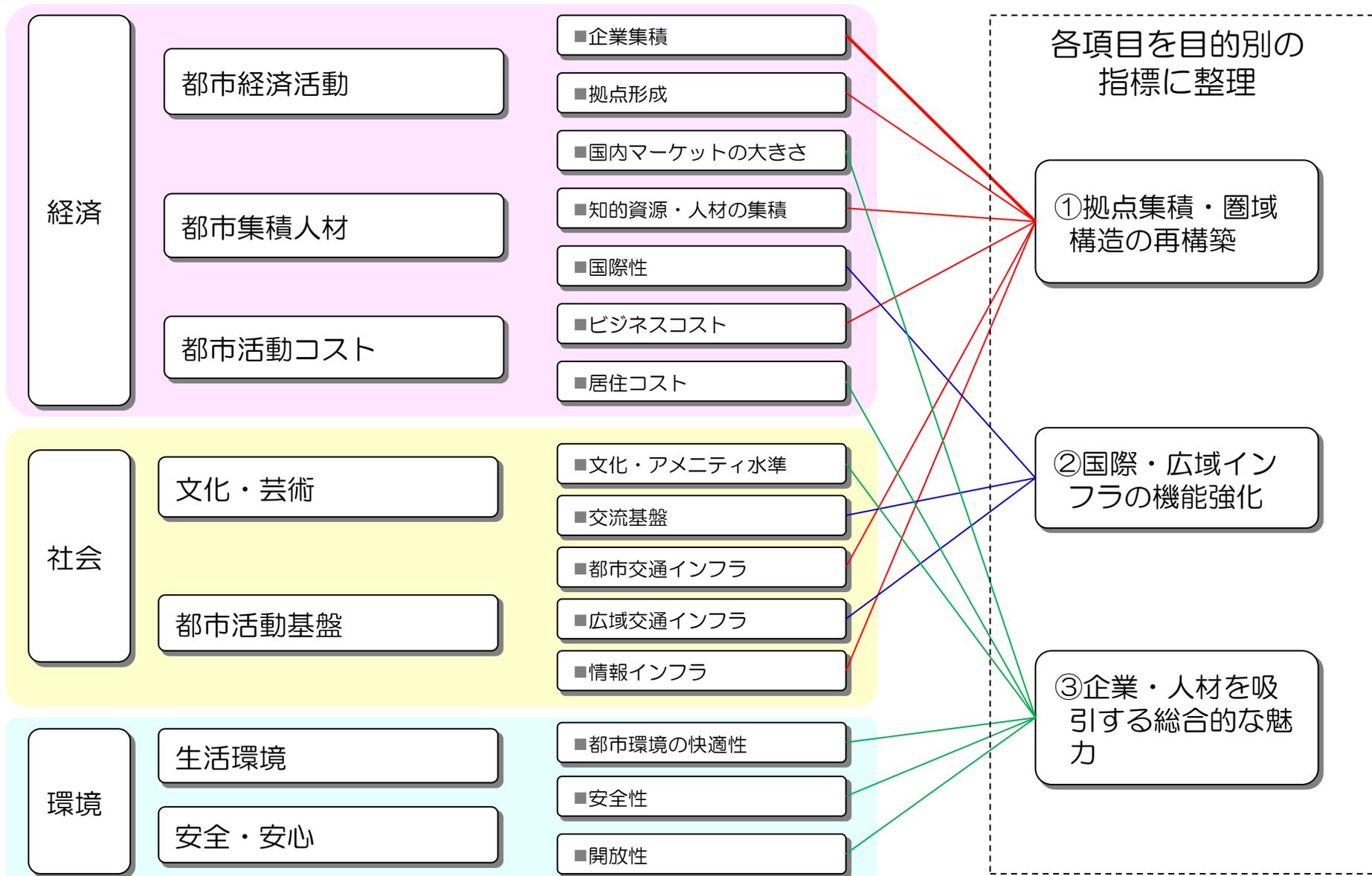
国際競争力をはかる指標について

平成22年11月5日

国土交通省 国土計画局

国際競争力の指標の考え方について

国際競争力に関する「経済」「社会」「環境」の視点で考えられる項目を抽出し、大都市圏戦略における目的別の指標に整理



国際競争力の指標について

国際競争力をはかる指標としては、「①拠点集積・圏域構造の再構築」「②国際・広域インフラの機能強化」「③企業、人材を吸引する総合的な魅力」の3つのテーマで構成要素を整理。

代表的な指標・データは以下のとおりであり、これらデータをもとに国際競争力を評価する方向で検討。

項目	構成要素	指標・データ
①拠点集積・圏域構造の再構築	①企業集積	多国籍企業の本社・拠点数 上場企業本社数、ビジネスサービスの従業者数
	②拠点形成	業務目的トリップ数 拠点都市の従業者数
	③情報インフラ	ブロードバンド普及率 インターネット普及率
	④ビジネスコスト	オフィスビル賃料、供給量 賃金水準
	⑤知的資源・人材の集積	大学数、研究機関数、留学生数 GDPに占めるR&D支出比率
	⑥都市交通インフラ	通勤混雑率 道路渋滞による損失時間
②国際・広域インフラの機能強化	⑦広域交通インフラ	年間旅客数、中央駅・空港へのアクセス時間
	⑧国際性	英語の普及率(TOEFL Score) インターナショナルスクール数
	⑨交流基盤	国際コンベンション開催件数 ホテル数
③企業、人材を吸引する総合的な魅力	⑩都市環境の快適性	大気汚染度 外国人向けの医療、教育、住宅の充実度
	⑪文化・アメニティ水準の高さ	劇場等における公演回数 芸術家数
	⑫居住コスト	集合住宅の新規賃料、戸建住宅価格 物価水準
	⑬安全性	犯罪件数、自然災害リスク 乳児死亡率
	⑭開放性	外国人登録者数
	⑮国内マーケットの大きさ	当該大都市圏の総生産額、GDP